

中外炉工業、熱技術創造センターが完成 脱炭素技術磨く

2023/11/10 20:40 日本経済新聞電子版 321文字

中外炉工業は10日、新設した研究所「熱技術創造センター」（堺市）の竣工式を開いた。水素やアンモニアを燃焼させる炉や、車載電池や半導体部材向けの熱処理設備を設けた。試験用としては国内最大級の炉も設置する。脱炭素に関連する研究開発のスピードを早める。

組み立て工場や資材置き場などとして使われていた土地を有効活用する。熱技術創造センターの新設に合わせて周辺の研究所の設備も拡充。5つの研究所で計29基の設備を持つことになった。

中外炉工業は自動車や鉄鋼向けの工業用炉などを手掛ける。世界的な脱炭素の流れから、環境に配慮した熱処理設備の開発を進める。



中外炉工業の大型試験炉

竣工式には永藤英機堺市長も参加。「堺市に先進的な研究開発拠点が構築されることをうれしく思う」と語った。

許諾番号30096210 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.